

林業福島

No. 731

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



7

2025

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 冬の備えも出来祭りだよ



福島県の森林・林業の 新たなステージに向けて

福島県森林組合連合
代表理事会長 田子英司

皆様には、日頃より、当会の業務運営に格別のご高配を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から十四年が経過しました。これまでの間、森林の公益的機能を確保するため、間伐等の森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を一体的に実施する「ふくしま森林再生事業」や、良質なしいたけ原木林を取り戻すための「広葉樹林再生事業」等に森林組合系統が連携して取り組んでまいりました。

皆様ご存じのとおり、閣議決定されている「東日本大震災からの復興の基本方針」においては、第二期復興・創生期間の五年目に当たる令和七年度において復興事業全体の見直しを行うこととされています。

「ふくしま森林再生事業」等の復興事業については、放射性物質の影響が続く地域においては継続して実施していく必要があります。様々な機会を通じて令和八年度以降の事業継続を国・県に要望しているところです。

一方、本年六月に自由民主党・公明党が「東日本大震災 復興加速化のための第十四次提言」を取りまとめました。この提言で森林・林業に関し、「震災以降、荒れ果てたふるさとの恵みを取り戻していくため、帰還困難区域内の森林整備の再開に向けて、作業者の安全・安心の確保や整備が必要な森林等の把握、木材の検査方法の運用見直しなどの条件整備を進めた上で、早期に間伐や路網といった具体的整備目標を定めて、本格的な復旧に着手すること。（以下、略）」とされています。

今後、これまで手を付けられずにきた帰還困難区域の森林整備にいよいよ着手することとなります。まさに「ふるさとの恵みを取り戻していくため」ふるさとの住民、すなわち森林所有者の協同組合である我々森林組合系統の出番であると考えています。昨年九月、これら国の動向を踏まえ、双葉地方森林組合を中心に近隣の森林組合で協議会を立ち上げ、連携・協力体制の構築に努めているところです。

また、放射性物質の影響を比較的受けていない会津地方においては、豊富な広葉樹資源を有しています。先日、岩手県森林組合連合会が運営する盛岡木材流通センターを視察させていただきましたが、ナラ材を中心とした広葉樹材が、ウイスキーの樽やフローリング用など、全国から引き合いがあるとのことでした。本県においてもチャンスがあるのではと考えているところです。

言わずもがな、人工林資源の充実により、今後ますます、伐つて、使つて、植えて、育てる、森林資源の循環利用の推進も急務です。

当会といたしましては、県内各森林組合との連携を密に、森林・林業の新たなステージに向け全力で取り組んでまいりますので、皆様の一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら
福島県の森林・林業の新たなステージに向けて
福島県森林組合連合会
代表理事会長 田子英司…… 1
「第36回巨木を語ろう全国フォーラム福島・
広野大会」が開催されました…… 2
県政コーナー
「林業アカデミーふくしま」の取組を紹介します！… 3～4
第53回全国林業後継者大会及び第75回全国植樹祭の開催 … 5

「企業等による森林づくり」活動 …… 6
林業アカデミーふくしま研修日誌② …… 7
普及指導員通信 …… 8
森連だより …… 9
木連だより …… 10
木の文化を育む⑦ …… 11
木材市況・ふくしま東西南北 …… 12
はなしのひろば・お知らせコーナー …… 13

「第三六回巨木を語ろう全国フォーラム福島」 「広野大会」が開催されました

（開催テーマ）震災を乗り越え 千年後の未来へおくる巨木

福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

第三六回巨木を語ろう全国フォーラムが令和七年五月十七日、十八日の両日、広野町で開催されました。

はじめに

巨木を語ろう全国フォーラムは、一九八八年の環境省巨樹・巨木林調査を契機として、巨樹・巨木林を通して身近な自然を見直す機運が高まったことから、同年秋季に第一回全国フォーラムが兵庫県柏原町で開催されて以降、コロナ禍の二カ年中止を除き、毎年、全国の自治体によって開催され、全国の研究者及び団体の普及啓発が行われております。

今回は、広野町が町制施行八五周年記念事業の一環として、東日本大震災を乗り越えた経験とともに、森林の大切さや美しい里山の魅力を全国に発信し、自然環境保全のための普及啓発を図ることを目的に、「震災を乗り越え 千年後の未来へおくる巨木」をテーマとして開催されました。

フォーラム 五月十七日(土)

フォーラムは、全国から約二〇〇名が参加し、広野町中央体育館で基調講演及びパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、小沢晴司氏*が「震災十四年 福島の森は何を見てきたか」と題し、避難指示のあった市町村について、各管内及び避難先の森林・樹木について被災前や現在の様子を写真で紹介しました。また、宮城大学小沢研究室の学生二名が宮城大学キャンパス林での活動内容を発表しました。

パネルディスカッションでは、小沢氏がコーディネーターを務め、四人のパネリストがそれぞれの活動内容を紹介するとともに意見交換が行われ、会場参加者からの質問や参加者どうしの意見交換などが活発に行われました。

各パネリストが紹介した活動内容は次のとおりです。

○NPO法人環境リレーションズ 研究所 理事長 鈴木 敦子氏
広野町の防災緑地において、

二〇一六年から都会を中心に苗親を募集し、植樹・育樹と併せて町の観光や交流イベントを毎年地元とともに企画運営し、交流人口の創出などを継続して行っている。

○NPO法人福島県もりの案内人の会
代表理事 小松 雅喜氏
福島県が認定しているもりの案内人の活動内容を紹介した。

○NPO法人浅見川ゆめ会議
副理事長 阿部 孝男氏
浅見川流域を中心に大学と連携し毎年実施している各種イベントを紹介した。

○広野町観光協会
会長 鈴木 正範氏
広野町内の歴史、伝統、文化、自然等について紹介した。

大会宣言の後、次回開催の天理市に大会旗の引継式が行われフォーラムは終了しました。

エクスカーション

巨木をめぐるツアー 五月十八日(日)
二コースに分かれて町内の巨木や観光名所を巡るバスツアーが行われました。

Aコース…修行院かやの木(町文化財指定)、奥州日の出之松(旧日本三大名松)など
Bコース…五社山、成徳寺かやの木(町文化財指定)など

小沢晴司氏…現宮城大学教授、京都大学生態学研究センター協力研究員、福島大学客員教授、東日本大震災・原子力災害伝承館客員研究員

氏は、一九八六年に環境庁入庁、東日本大震災の翌年に原子力災害対応のため福島環境再生本部長等として現地の除染、中間貯蔵、放射線リスクコミュニケーションに関わり、二〇二〇年退職まで八年間を福島県での現地業務にあたった。



パネルディスカッション



修行院かやの木(樹齢約550年)



成徳寺かやの木(樹齢約400年)

県政コーナー

「林業アカデミーふくしま」の 取組を紹介します！

福島県森林計画課

日頃より、林業アカデミーふくしまの運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

林業アカデミーふくしまでは、福島県の抱える林業の人材不足の課題を解決するため、二つの柱①実践力を有し、安全に現場作業が行える「人材」の育成、②地域の森林経営管理を担う「人材」の育成、を掲げ、県内の森林組合等の林業事業体に就業することを旨とする一年間の「就業前長期研修」（以降、「長期研修」という。）と、地域森林管理の役割を担う市町村林務担当職員の知識習得、林業従事者の育成や技術力の向上を目的とした「短期研修」を実施しています。

長期研修では森林林業に関する「知識」の習得、森林施業「技術」

の習得、林業に求められる「資格」の取得、林業への理解を深める「インターンシップ」を研修講座の柱とし、チェーンソーの基礎的な技術や実践力を身に着ける実習を中心に、計三回のインターンシップを通して、林業への理解を段階的に深めることができ

る研修となっています。令和四年度に長期研修を開講して以来、これまでに四二名の修了生が県内の林業事業体等へ就職し、県内各地で活躍しています。今後、地域林業の中心となる担い手になることを期待しています。

令和七年度に入講した第四期生は、例年より少ない人数ではありますが、互いに切磋琢磨し

ながら研修に励んでいます。また、短期研修においては、今年度も四月から十月にかけて十四講座を実施し、林務担当に異動して間もない方や事業体に就職したばかりの方を対象とした基礎的な講座に加え、森林経営計画の作成の中心となる人材を育成するための「提案型集約化施業」や、大型ドローンによる苗木運搬や3Dレーザースキャナを使った森林調査を学ぶことができる



図1 林業アカデミーふくしま第4期生

「最先端の林業技術」といった研修を実施します。各種研修につきましても、林業研究センターより募集案内がありますので、参加を希望する場合はお申込ください。

令和八年度研修生募集開始！

令和七年七月一日から、令和八年度就業前長期研修生の募集を開始いたします。昨今の就職活動の早期化に対応するため、今年度は選考スケジュールが早まっております。

森林・林業に興味がある方、自然の中で働きたい方、I・Uターンで新しい職をお探しの方、福島県の森林を育み次の世代へつないでいくという強い意志をお持ちの皆さまのご応募をお待ちしております。

【選考区分・日程】

推薦選考及び一般選考を実施します。募集人数、申請期間等は表1をご覧ください。

【申込方法・選考方法】

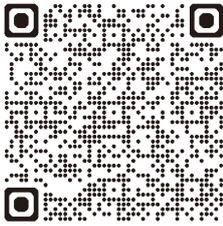
詳細は林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和八年度研修生募集要項をご参照ください。

表1 令和8年度研修生募集スケジュール

区分	募集人数	申込期間	選考試験日	合格発表
推薦選考	10名程度	令和7年7月1日(火) ～7月31日(木)	8月19日(火)	8月29日(金)
一般選考 (前期)	5名程度	令和7年9月1日(月) ～9月26日(金)	10月8日(水)	10月20日(月)
一般選考 (後期)		令和7年10月27日(月) ～11月21日(金)	12月3日(水)	12月12日(金)

※一般選考(後期)は、前期試験で募集定員に達した場合は実施しません。
 ※後期選考で定員に満たない場合、追加募集を行う予定です。

募集要項は
こちら



林業アカデミーふくしま オープンキャンパスの開催!

林業アカデミーふくしまのオープンキャンパスを、令和7年七月二十七日(日)、二十九日(火)に開催します。

研修生・修了生との対談、研修施設の案内ツアー、個別相談など、林業アカデミーふくしまを詳しく知ることができますので、アカデミーへの入講を検討されており、雰囲気気になる方や、実際に研修生や修了生と話してイメージを膨らませたい方、アカデミーに興味があり見学してみたい方など、皆さんお誘いあわせの上、ご参加ください。

公開デーを開催!

オープンキャンパスの日程に都合がつかない方や様々な方にアカデミーを訪れていただくため、林業アカデミーふくしま公開デーを毎月開催しています。公開デーでは、研修施設の紹介に加えて、研修生が実際に研修に取り組む様子を見学することができ、普段の研修の雰囲気を体感することができます。

【公開デー日程】

- 第二回 八月十八日(月)
長期研修内容 チェーンソー操作の自習(見学のみ)
 - 第三回 九月九日(火)
長期研修内容 チェーンソーメーカーの講義(見学のみ)
 - 第四回 十月二日(水)
長期研修内容 大型ドローン操縦実習(見学のみ)
- (毎月順次開催)



図2 公開デーの様子



公開デーの申込はこちら

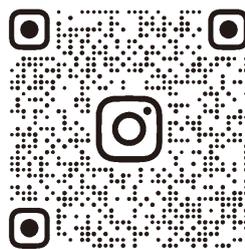


オープンキャンパスの
申込はこちら

最後に

福島県の林業を支える新たな担い手を確保するために、皆様、林業アカデミーふくしまの周知・PRにご協力のほどよろしくお願いいたします。

インスタ開設しましたので、フォローよろしくお願ひします!



F.FORESTRY.RC

【お問い合わせ】

(林業アカデミーふくしまについて)
 福島県林業研究センター企画研修部
 TEL: 〇二四一九四五―五九七四・五九七五
 E-mail: forestry.rc@pref.fukushima.lg.jp
 (本記事について)
 福島県農林水産部森林計画課
 TEL: 〇二四一五二一―七四二六
 E-mail: shinrinkaikaku@pref.fukushima.lg.jp

第五三回全国林業後継者大会及び 第七五回全国植樹祭の開催

福島県森林計画課

○第五三回全国林業後継者大会

令和七年五月二四日（土）、埼玉
県飯能市の飯能市市民会館におい
て、「森が支える日本の未来 私た
ちの手で作ろう」をテーマに第
五三回全国林業後継者大会が開催さ
れ、全国から林業関係者約四〇〇名
が集いました。

式典では、コカリナの演奏に始ま
り、埼玉県副知事や飯能市長、林野
庁や林業関係団体からの祝辞が述べ
られました。その後、株式会社農林
中金総合研究所の安藤範親氏による
特別講演や、林業関係者や森林組合
等の林業従事者によるパネルディス
カッションでは、「持続可能な林業つ
て何なん？」をテーマに、経営者・
従事者・後継者等の役割、林業に人
が定着しない理由などについて議論
が交わされました。

本大会では、若手や後継者の視点
から林業をどう改善すべきか、林業
の魅力を地域ぐるみで発信する工夫
など、参考となる取り組みが多く紹
介されました。これらを踏まえ、本
県においても、人材育成に取り組み
林業アカデミーふくしまとの連携強
化、地域との連携による林業の魅力
発信を進め、次世代につなぐ持続可
能な林業の構築に向けて、後継者の
育成に努めてまいります。

○第七五回全国植樹祭

五月二五日（日）には、埼玉県秩父
市と小鹿野町にまたがる秩父ミュー
ズパークで第七五回全国植樹祭が
「人・森・川 つなげ未来へ 彩の国」
を大会テーマに開催されました。

天皇陛下に御着座いただくお野立
所は、木組みで構成され、屋根は秩
父地域の連なる山々や羽ばたく鳥が
表現されており、会場周辺の景観と
の調和や人・森・川をつないだ埼玉
県が未来へ飛翔する思いが込められ
たデザインとなりました。

また、会場を盛り上げた複数のア
トラクションでは、落語家の林家た
い平さん、タレントの朝日奈央さん
のナビゲートで、森林資源の活用や



天皇陛下によるお手植えの様子
〔c第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会〕

木材の利用拡大を図る「活樹」の重
要性を発信し、これからも輝く未来
を実現することを参加者全員で誓う
演出となっていました。

式典の最後に、昨年度開催の岡山
県から埼玉県に引き継がれた木製地

球儀が、次回、令和八年度の第七六
回全国植樹祭開催県である愛媛県に
手渡されました。

エピソードでは、全ての出演者が
登場するとともに、シンガーソング
ライター吉澤嘉代子さんが大会の
テーマソング「メモリー」を歌唱し、
感動のフィナーレを迎えました。

会場から帰る際には、全国植樹祭
のロゴがデザインされたフジパンの
スナックサンドが参加者全員に配ら
れ、大会の基本方針の一つ
でもある「おもてなしの心」
でもあり「おもてなしの心」
で送り出されました。今年
十一月九日（日）に小野町で
開催予定の「第八回ふくし
ま植樹祭」においても、埼
玉県で受けたこの「おもて
なしの心」の精神を大切に
して、参加者の皆様をお迎
えしたいと思えます。



配布されたスナックサンド

「企業等による森林づくり」活動

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

当協会は、県内の森林づくりの活動を一層進めるため、福島県の「みんなので支えよう森森（もりもり）元気事業」に取り組み、企業やNPO等が社会貢献活動として行う植樹活動等をサポートしております。

この森林づくり活動に取り組むにあたっては、企業等の皆様は、森林所有者などと森林づくり協定を結び、活動していただくこととしております。

平成二一年度にスタートしました森林づくり協定は、現在までに十七件、五・九の森林において結ばれており、令和六年度は新規で一件、光建工業株式会社様が協定締結し、活動を開始していただきました。現在十三件の協定が終了し、「表一」

のとおり四企業が活動に取り組んでおります。

また、平成二六年からは、東日本大震災により大きな被害を受けた海岸防災林においても、協定を結び海岸防災林の再生を目的に森林づくり活動を進めてまいりました。現在までに計二二件、六・四八の海岸防災林において協定が結ばれ、現在十七件の協定が終了し、「表一」

2のとおり五企業・団体が活動に取り組んでおります。

令和六年度は、「表一」3のとおり九企



広葉樹の植栽



クロマツの植栽（海岸防災林）

表一 企業等による森林づくり協定締結一覧 (R7.4.1現在活動中)

No	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積 (ha)
1	株式会社みずほフィナンシャルグループ	下大越共有山林組合 いわき市 福島県	いわき市平下大越 字南横手226番地	H25.4.24 H31.3.29 R4.3.17 R7.3.14	H25.4.24~ R10.3.31	2.27
2	日本精工株式会社	棚倉町 福島県	棚倉町大字関口 字井戸作132-7ほか	H31.2.4 R6.3.5	H31.2.4~ R11.3.31	6.35
3	日本貨物鉄道株式会社	(公財)ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団 福島県	安達郡大玉村玉井 字長久保65	R5.9.28	R5.9.28~ R10.3.31	2.00
4	光建工業株式会社	白河市 福島県	白河市菅生館1-1 及び18	R6.10.16	R6.10.16~ R11.3.31	0.15
合計 (4者・4協定)						10.77

表二 NPO・企業等による海岸防災林の植樹活動 協定締結一覧 (R7.4.1現在活動中)

No	企業等名	ほか協定者	活動場所	協定締結年月日	協定期間	協定面積 (ha)
1	(公社)福島県トラック協会	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	相馬市磯部字大洲38-3	H29.4.4 R2.1.21	H29.4.4~ R8.3.31	0.20
2	福島キヤノン株式会社	南相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	南相馬市鹿島区南海老字 中谷地89ほか	H30.9.28 R2.12.22 R6.3.12	H30.9.28~ R8.3.31	0.53
3	全富士通労働組合連合会	南相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	南相馬市鹿島区南右田 字谷地35ほか	H30.10.16 R7.2.10	H30.10.16~ R9.3.31	0.53
4	(公社)福島県トラック協会	相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	相馬市磯部字大洲38-3	R1.10.25	R1.10.25~ R8.3.31	0.40
5	株式会社メイワ	南相馬市 (公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	南相馬市鹿島区南海老 字中谷地195番ほか	R2.10.20 R5.2.24 R7.2.10	R2.10.20~ R9.3.31	0.08
6	保土谷化学工業株式会社	(公社)福島県森林・林業・緑化協会 福島県	南相馬市鹿島区南海老 字中谷地30番ほか	R3.3.25	R3.3.25~ R8.3.31	0.75
合計 (5者・6協定)						2.49

表三 令和6年度 企業等による森林づくり活動状況

	活動場所	実施者	月日	面積 (ha)
1	いわき市平下大越地内	株式会社みずほフィナンシャルグループ	11月16日、11月17日、 12月19日、12月20日	1.40
2	棚倉町関口地内	日本精工株式会社	11月30日	1.67
3	安達郡大玉村玉井地内	日本貨物鉄道株式会社	5月15日~6月17日、 6月21日、10月18日	0.35
4	白河市菅生館地内	光建工業株式会社	10月19日	0.03
5	相馬市磯部字大洲地内海岸防災林	(公社)福島県トラック協会	9月30日、10月1日、 10月12日	0.60
6	南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	福島キヤノン株式会社	5月25日	0.53
7	南相馬市鹿島区南右田地内海岸防災林	全富士通労働組合連合会	4月20日、5月19日、 10月13日	0.16
8	南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	保土谷化学工業株式会社	5月23日、5月24日	0.30
9	南相馬市鹿島区南海老地内海岸防災林	株式会社メイワ	6月21日、11月1日	0.08
合計				5.12

業・団体が、計五・一二の森林づくり活動が行われました。主な内容は、広葉樹やクロマツの植栽や下草刈り、剪定作業などとなっております。また、株式会社みずほフィナンシャルグループ様、全富士通労働組合連合会様、株式会社メイワ様の三社につきましては、令和六年度に協定期間を延長し継続して活動していただいております。

このような企業やNPOの皆様により森林づくり活動に感謝いたしますとともに、今後とも「企業等による森林づくり」の活動をサポートしてまいります。

現在、新たに協定を締結し、森林づくり活動ができる森林区域等を募集しておりますので、市町村や森林所有者などの皆様方から情報提供やご相談をお待ちしております。

林業アカデミーふくしま研修日誌②



○五月の研修内容

今月は、基礎的な知識と技術を習得するとともに、車両系建設機械運転技術技能講習と高性能林業機械特別教育を合わせて十日間かけて受講しました。研修生達は林業機械による技術の習得に向けたスタートラインに立つことができました。

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得
「森林・林業の基礎」

林業に従事する上で必要な関係法令や震災後の県内林業の状況、林相毎の森林土壌の特徴を学びました。林内での土壌断面づくりは、今後に役立つとても良い経験となりました。

●森林施業「技術」の習得
「立木調査」

林分材積や立木密度などを調査するため、輪尺やトゥルーパルスなどの道具の使い方や材積、形状比、相対幹距比などの計算の仕方を学びました。その後、一〇〇平方メートルの方形プロットと円形プロットを作り、胸高直径等を計測、データを元に材積などの算出を行い、林分の評価を行いました。

「チェーンソー伐木造材技術」

前回の講義から引き続き、丸太を

まっすぐ伐る練習と新たにスパイクを使って伐る練習を行いました。その後、講師による立木の伐倒のデモンストラーションを実施し、短い丸太を立てて、受け口を作る練習を行いました。

「チェーンソー刈払機の取扱と安全性の追求」
ハスクバーナ・ゼノア(株)と(株)スチールに講師をお願いし、各メーカーのチェーンソー・刈払機の構造やメンテナンスの方法など、詳しく教えていただきました。

●資格の取得
「車両系建設機械運転技術」

林業機械のベースマシンとなる車両系建設機械の技能講習を受講しました。今回の操作方式は「IS規格(横旋回)」でしたが、今後は縦旋回での実習も行っていく予定です。

「走行集材機械、伐木等機械、簡易架線の基礎」
車両系建設機械運転技術に引き続き、高性能林業機械の特別教育を受講し、フォワーダ、フェラーパンチャザウルス、スイングヤーダの操作練習とワイヤー編み(アイススプライス)の実習を行いました。

●インターンシップの実施等

「社会人教養(登山と植物観察)」

植物観察と山歩き・体力作りのため、郡山市西部に位置する額取山(安積山)登山を行いました。新緑を感じながら道中の植物を観察し、アカデミー帰着後は図鑑を使って樹種の同定(判別)を行いました。

○研修生の感想

石川 滋(いしかわしげる)

林業アカデミーふくしまに入講し二ヶ月が経過しました。日々、講師の方たちより林業に携わるために必要な知識、技術をご指導いただいています。

GW明けには、車両系建設機械の操作を学びました。初めて操作する重機には、見た目の武骨さとは裏腹に繊細な操作を要求される機械だということを感じ知らされました。特にドラグショベルでの掘削と水平ならしは、アームとブームとバケットの連動を考えながら左右のレバーを丁寧

にテンポよく操作しなければいけません。自分でやってみると、これまで日常生活の中で見ていた重機がいかに上手な操作をしていたのかと痛感しました。この時の操作体系は「IS規格」のもので、翌週の特別教育では別規格のフェラーパンチャを操作する機会が訪れましたが、案の定操作で混乱してしまいました。どちらの規格でも対応できるように今後の講習に取り組みたいと思います。

五月中旬の立木調査では、森林の状態を数値として評価することの大切さを学びました。林業研究センター内で講師より様々な道具を使った測定方法を教えていただいた後に、実際にフィールドでの実習を行いました。複数プロットの立木を測定し、立木密度や形状比などを求め比較することで、密度の近いプロットでも形状比に大きな違いが出ることを実感しました。

貴重な時間はあっという間に過ぎていきます。充実した日々を過ごすし、学んだことを取りこぼさないように定着させていきたいです。



フォワーダの操作練習



立木調査：円形プロット作成

森林経営管理制度の取組支援

福島県県南農林事務所 林業普及指導員 渡部 昌俊

1 はじめに

森林経営管理制度は、手入れの行き届いていない森林について、市町村が森林所有者から経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託するとともに、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理する制度です。令和元年度より運用が開始されましたが、県南地区の市町村においては、林業を専門とする職員が不足しているため、担当職員の理解が十分ではなく何から着手すればよいのかわからない、森林整備基本方針を策定したものの方針に沿った取組がなされていないといった課題があり、森林経営管理制度の推進のためには、これらの市町村が抱える課題を解決しなければなりません。

そこで、各市町村が着実に森林経営管理制度に取り組めるよう、課題解決に向けて行った支援について紹介します。

2 取組内容

(1) 担当者会議の実施

まずは担当者の森林経営管理制度への基礎的な理解を深めるために、令和6年2月に市町村担当者会議を実施しました。改めて森林経営管理制度の概要（森林経営管理法上の市町村の立場）や経営管理意向調査の進め方についての説明を行うとともに、意向調査を実施した自治体の事例を発表していただき情報共有を図りました。

また、森林整備基本方針等により選定された森林の整備など森林経営管理制度の取組を計画的に進めるため、今後5～10年程度を見据えた中長期方針の作成を依頼しました。

(2) 個別打合せの実施

令和6年9月～10月には、各市町村が抱える課題を把握し、中長期方針に沿った取組を実施できるようにするため、全市町村と個別打合せを実施しました。担当者任せとならないように、打合せには担当者のほか上席の出席を求め、具体的な事務の流れの説明と意見交換を行いました。これにより担当者が抱える、膨大な事務量への躊躇や組織内の連携が不十分といった課題が明らかになり、これらの解決のため、担当者だけでなく組織として対応するよう求めました。

(3) 中長期方針の更新

事業を直実に実施していくためには、他の森林整備事業の実施状況や実施主体である森林組合等の意見を踏まえ、現状に沿った中長期方針に見直す必要があります。そのため、市町村には、既存の中長期方針を個別打合せや令和6年度の取組結果を踏まえて見直してもらい、令和6年度末時点に更新するよう依頼しました。

3 今後の取組

これらの取組により、管内9市町村のうち6市町村について中長期方針の見直しにつながり、各市町村が森林経営管理制度に着実に取り組むための方針を定めることができました。今後は、市町村担当者を対象とした研修会の実施や、年2回程度の個別打合せの実施により、取組状況の把握や中長期方針の定期的な更新など、管内全ての市町村職員の意識醸成を図ってまいります。また、市町村の意向を、森林整備の担い手である森林組合とも共有し、現場の意見を取り入れながら、取組の実効性を高めていきます。こうした取組を通じて、市町村が方針に沿った対応を着実に進められるよう、市町村に寄り添ったきめ細かな支援を行い、森林経営管理制度を促進してまいります。



市町村との打合せ

森連だより

第七四回通常総会開催



当会は、第七四回通常総会を去る五月二八日ホテル福島グリーンパレスにおいて開催いたしました。

沖野浩之福島県農林水産部長をはじめ多くのご来賓の皆さまにご臨席をいただきました。

水野郁夫副会長より開会を宣した後、田子英司代表理事会長の挨拶が行われました。

続いて、議長として矢吹盛一田村森林組合代表理事組合長が選出され、全十議案が承認されました。

令和六年度は、組織体制の見直しを行い、参事の下、指導管理課、業務課、森林土木課、いわき木材流通センターの三課一所体制に改編し、風通しの良い職場環境の整備、迅速な意思決定に取り組んでまいりました。

また、福島県の森林・林業の復興再生に向けては、令和三年度から令和七年度の第二期復興・創生期間において、ふくしま森林再生事業や広

葉樹林再生事業等に取り組むとともに、中長期的な財源確保について、系統森林組合と連携して、様々な機会を通じ、国等への要望活動を実施してまいりました。

令和四年二月に策定した「福島県森林組合連合会JForestビジョン2030基本方針」及び令和四年度から令和六年度までの「中期経営三カ年計画」に基づき、会員組合及び森林組合員の経営安定に向けた支援等に役職員が一丸となって取り組んだ結果、年度末決算では、剰余金を計上することが出来ました。

令和七年度は、引き続き「福島県森林組合連合会JForestビジョン2030基本方針」に基づき、会員指導を通じた系統全体の発展を図ることを目的に会員の指導・監査の実施、単位組合では困難な広域連携による販路拡大や価格交渉を通じた県内森林組合の安定的な経営基盤の確立、ひいては森林所有者の

社会的・経済的地位の向上に向けた取組を進めてまいります。

令和七年は、国連決議に基づく「国際協同組合年」となります。引き続き、系統森林組合と連携し、地域の林業経営の担い手としての役割を担うとともに、人材の確保・育成や原木の安定供給に努め、会員各位に信頼され、十分に応えることのできる組織として、職員の資格取得、技術力向上など資質向上を行い、「協同組合原則」が常に達成されるよう今後も積極的な事業運営に努めてまいりますので、関係各所の皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

表彰者は次のとおりです。

〔表彰者名簿〕

○令和六年度系統利用優良組合

- 販売部門 ふくしま中央森林組合
- 購買部門 いわき市森林組合
- 森林保険部門 福島県北森林組合

○功労者表彰

- 永年勤続役員（勤続十二年以上）
 - 矢吹 盛一（田村森林組合）
 - 保住 昭一（東白川郡森林組合）
 - 神永 哲彦（東白川郡森林組合）
 - 生方 和廣（東白川郡森林組合）
- 永年勤続職員（勤続三〇年以上）
 - 田村 秀和（田村森林組合）
 - 田中 仁美（田村森林組合）
- 永年勤続職員（勤続二〇年以上）
 - 会田 雄介（ふくしま中央森林組合）
 - 大竹 直樹（ふくしま中央森林組合）



JForest森林組合綱領唱和



田子会長挨拶

永年勤続技術班員（勤続五年以上）
渡邊 篤慶（福島県北森林組合）
古張 忠男（東白川郡森林組合）

団体のページ

木連だより

第六二回
通常総会の開催

去る五月二八日、福島市のウェディングエルティにおいて、第六二回通常総会を開催いたしました。

佐川広興副会長の開会宣言の後、風間良一会長から、「昨年の県内の新設住宅着工数が七、五一七戸と八年連続で前年を下回り十年前の半数にまで減少。全国的に見ても十五年ぶりの八〇万戸割れとなるなど、製材品の多くを県外に出荷する本県木材産業にとって影響は大きい。また、四月施行の改正建築基準法による四号特例の縮小、省エネ基準適合義務化も懸案事項であり木材産業を取り巻く現状は厳しいが、一方で、大阪・関西万博の大屋根リングやパピリオンに本県で生産された木材が活用されるなど、万博は県産木材をPRする絶好の機会となっている。まちの木造化推進法施行による木材利用の広がりに加え、県が昨年策定したガ



イドラインに基づく県有建築物の木造化・木質化の推進と市町村、民間建築物への波及に期待し、あらゆる場面で木材利用が当たり前となるウッドファースト社会の実現に向けて取り組む。」と挨拶がありました。

続いて、本県木材産業の振興に尽力された方々の表彰が行われた後、来賓の沖野浩之県農林水産部長様、高木鉄哉福島森林管理署長様、鈴木勝之全国木材組合連合会参与よりご祝辞をいただきました。

その後、鈴木賢二福島県木材市場協同組合理事長を議長に選出し議事が進められ、事業方針に基づき、県産材の安定供給体制構築に向けて、JAS材供給体制整備や安全・安心な県産材の供給強化を図るとともに、県産材の需要拡大と木造建築物の普及に向けて、県産材を活用した木造住宅の普及や公共施設・非住宅

等の木造化・木質化を推進するため
の要望活動や国の公募事業の取組。
さらには合法木材、クリーンウッド
法の定着、労働安全対策などに取り
組む事業計画が上程され、原案のと
おり承認されました。

- 今回承認された事業計画に基づき、会員の皆様と連携しながら、森林資源の循環利用、木材需要の拡大と木材産業発展に取り組んでまいりますので、引き続き関係の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。
- 優良勤続者
長谷川誠(株カンノ住研)、齋藤洋一(株酒井東栄コーポレーション)、佐藤高彰(株ノーリン)、小川浩平(有川島林業)、松本司(株平木材市場)
 - 組合事務局専従功労者
黒澤友美子(県郡山地区木材製材協同組合)
 - 感謝状贈呈
廣瀬一雄(前東白製材協同組合理事長)、国分 純(前猪苗代木材協同組合理事長)



議事の様子



感謝状贈呈

木の文化を育む ⑦⑥

受け継ぐ・つなぐ・創り出す ～未来へ紡ぐ、出会ふと手ごと～

(ぬん／おやまかな)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

ものづくりによる手しごとは、「受け継ぐ」「繋ぐ」「創り出す」ことで時間と人と文化を紡いでいく営みです。職人が何世代にもわたって伝えてきた技術や知恵を次世代へ繋ぎ、暮らしの中で活かしていくことはその価値を高め、過去と未来をつなぐ創造の架け橋となります。

○ものづくり活動家

「古くから続いてきたものづくりを皆のもとへ届けたい」という想いでものづくりをはじめた、ものづくり活動家 小山加奈さん（川俣町）は、長年勤めた大手企業を退職し、二〇二〇年よりフォトグラフィアー、箒職人、木桶職人の三つの異なる職業に従事しています。二〇二二年三月、なんでもない日が特別になる写真館「シロヤマ写真館」（須賀川市）を友人と開業し、同年五月には福島県川俣町の地域おこし協力隊としてホウキモロコシの栽培と箒づくりのほか、木桶づくりに取り組みます。三年間の任期を終えた現在も、ホウ

キモロコシを栽培しながら箒と木桶づくり、そしてフォトグラフィアーとして邁進し、二〇二四年からは、「ぬん」の屋号で、もの与人、人と人をつなぐものづくり活動に取り組んでいます。

○ホウキモロコシの栽培

「私の箒づくりの原点は、栃木県鹿沼市の鹿沼箒と、それをつくる方々との出会いにあります。大切に受け継がれてきたホウキモロコシの種と、手仕事の知恵。そんなかけがえないものをわけていただいたところから、私の箒づくりは始まりました」と小山さん。フォトグラフィアーとしての活動がご縁となり、鹿沼の箒職人と出会ったことから「本気でやるなら…」とホウキモロコシの種を譲り受け、箒づくりをはじめました。小山さんは現在、福島県川俣町にて無農薬でホウキモロコシを栽培しています。

○箒の魅力

栽培したホウキモロコシは、小山さんが自らの手で収穫・選別・脱穀・

茹で・天日干しの工程を担い、漸く箒に仕立てます。仕立てに使用する糸は藍・ホウキモロコシの種・柿渋・炭を用いて染色しており、藍染め以外は小山さんが自ら染め上げています。仕立てられた箒は、穂先が柔らかく埃が立ちにくい、静電気が起きない、畳に艶が出るなどの特徴があります。黒竹の凜とした質感と美しさを活かした箒の柄は、軽さと強度を兼ね備えており、楽な姿勢で掃けるよう穂先を斜めに仕立てています。ホウキモロコシでつくられた箒は使い続けていくうちに使い手に合った形に変化し、より使用感の良い箒になります。

○木桶の文化を伝える

箒づくりに邁進していた小山さんは、酒造りに使用する木桶づくり「福島木桶プロジェクト」に参加する機会が訪れます。日々の暮らしに寄り添う道具として木桶に惹かれた小山さんは、二〇二二年より川俣町で唯一の木桶職人、嶋原廣さんとともに、木桶づくりの技術と営みを次世代へ伝える活動に取り組めます。

木桶づくりにには福島県産の杉と川俣町の竹を使用しており、竹は十一月から二月末にかけて伐採し、一年分の竹を準備します。小山さんは木取りした杉材を削り、竹を裂いて籬（たが）を編み、桶から水分が漏れないよう部材一つひとつを精巧に調

整しながら組み上げてゆきます。製作した木桶で仕込む「手前味噌仕込みワークショップ」は大変好評を得ており、木桶の文化や扱い方、木桶仕込みの良さなど、木桶の魅力を多くの人々へ伝えていきます。

○まとめ

小山さんはワークショップや写真を通して、手しごとの魅力やその背景にある技術や知恵、文化を伝えるとともに、もの与人、人と人をつなぐ担い手として、またその繋がりが更なる未来の創造に発展することを願って活動しています。

◎令和七年七月四日～十月十九日まで、

渋谷ヒカリエ【4F MUSEUM】にて開催される「LONG LIFE DESIGN デザイン物産2025-47 都道府県の工夫のデザイン」に小山さんは福島代表として参加します。貴方も暮らしに寄り添う道具の魅力が未来へ届けませんか？



ホウキモロコシで箒を仕立てる小山さん

県森連いわき共販における木材市況（6月分）

令和7年7月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		
		10~13	14.0	13.5		
		24上	12.2	11.4		
	3.65	16上				
		24上	10.8	10.3		
	3.00	9下	10.2	8.0		
		10~13	10.5	10.3		
		14~16	9.8	9.3		
		18~20	11.5	11.0		
	6.00	22上	11.5	10.6		
16~20		14.1	13.3			
2.00	16上	7.5	6.0			
ヒノキ	4.00	10~13	9.0	8.8		
		14~16	13.0	12.0		
		18~20	19.4	15.0		
		22上	19.4	15.0		
3.00	16~20	18.5	15.0			
アカマツ	4.80	18~22				
	4.00	18~22	10.5	10.0		
		24上	10.5	10.0		
	3.00	16~22	10.5	10.0		
24上		10.5	10.0			

素 材					
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要
カラマツ	4.00	12下			
		13~14			
		16上			
ク リ	4.00	16上	14.0	13.0	
	3.00	16上	13.0	12.0	
モ ミ	4.00	20上			

市況概要と市況展望	7月の共販日
販売量は2,995㎡（前年同月比103%）でした。 入荷は良好です。スギ3m柱材、中目材ともに 市毎に値を下げ、後半は横ばいで推移しました。 スギ4.00m材も同様です。 先行きこの状況が続くと思われま。	7日(月) 17日(木) 28日(月)

行 事 と お 知 ら せ
県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。 <div style="text-align: right;"> 福島県森林組合連合会 木材市況 検索 </div>

四月に入り、屋根からポタポタと水音が聞こえるようになると、ようやく雪解けの兆しが見え始めました。写真は四月下旬の南会津町で、工事再開に向けて除雪作業を行った現場の様子です。まだところどころ雪が残っているのは、気温が上がり、地面のぬかるみと格



写真1 林道 田島・館岩I線



写真2 林道 田島・館岩I線のふきのとう

昨年（2025年）の冬は、数年に一度の豪雪と言われるほどの雪が降り積もりました。自宅前の雪かきと車の雪下ろしが毎朝のルーティンになり、山も町も真っ白で、見た目にはきれいで、生活面ではなかなか大変な冬でした。道路状況も悪く、仕事や移動にも影響が出て、正直うんざりする日もありました。

闘しながらの作業再開です。五月中旬になると、木々の根元にふきのとうがちらほら見え始め、ようやく季節が動き出した実感が湧いてきました。雪がなくなった現場に立つと、「ようやく始まるな」という気持ちになります。春の訪れはうれいものですが、それと同時に、これからやってくる夏の暑さを思うと、少し身構えてしまいます。また長い一年が始まるなという思いです。



厳冬を越えて、現場再始動

福島県南会津農林事務所 進 洋枝

表紙の写真



「冬の備えも出来祭りだよ」

第21回ふくしま森林・林業写真コンクール
特別賞（一般の部）（県林業会館理事長賞）
受賞者 大島市郎さん（会津若松市）
撮影場所：下郷町大内宿
コメント：冬仕度のマキと半夏祭りを合
わせました。

発行
人 行

陽光社印刷株式会社
飯沼隆宏
（定価 一〇〇円）

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

はなしの ひろば 風

暦に七十二候がある。自然現象にまなざしを向け、桃の節句や、端午の節句などの五節句や、雑節と呼ばれる節分、彼岸、八十八夜、土用等々も、現代の暮らしに行事や行事食で溶け込んでいる。そういう意味では、七十二候は、自然の息吹をそのまま暦に編んできたような気がする。

さて、七月七日～十一日は、七十二候で第三十一候「温風至（あつかぜいたる）」夏風が、熱気を運んで来る時季だという。熱気と湿気が絡みあつた風もこの季節ならではだ。梅雨の始めに吹く南風は「黒南風（くろはえ）」梅雨明け頃に吹く南風を「白南風（しらはえ）」という。この色については、黒い雨雲の下から吹く風と梅雨明けの明るい空に吹く風の違いらしい。が、夏の夜、日中の名残りの熱気をぬつて、瞬間涼しく吹いてくる微かな風に、ホッとすることはないだろうか。この「微かな風」にも色の名前をつけるとしたら、どんな名前をつけるだろうか、とふと思う。日本人は、風に名前をつける名人らしい。「順風」「疾風」「旋風」など、風には二、〇〇〇以上の名があつて、その多くは、漁師や農家の人々がつけたというから、毎日の暮らしが季節の風と共にあつたのだろう。

そして、八月七日の立秋の頃から七十二候は、第三十七候「涼風至（りょうふういたる）」となる。蒸し暑い風が微かに変わったな、と感じたら、それは、心が「風情」という風の形になった瞬間なのかもしれない。

一四六話（都）

お知らせコーナー

第22回ふくしま森林・林業写真コンクール 作品募集

森林の大切さとそれを支える林業の重要性を県内外に広く発信するため、森林・木材との関わりや森林整備作業などをテーマにした作品を募集しています。

1 テーマ

下刈・間伐・皆伐再造林などの森林での作業、木材の利用、特用林産物（炭焼き、きのこ栽培、漆等）、里山風景、森林レクリエーションなど福島県内の森林・林業に関するもの。

2 応募資格

アマチュアで、福島県内で撮影した自作の未発表作品に限ります。

なお、特別賞として学生の部を設けていません。

3 作品サイズ

カラープリント、四ツ切・ワイド四ツ切（デジタル可）

4 応募締切

令和7年9月24日（水）（当日消印有効）

5 お問い合わせ先

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
企画管理室（TEL 024-573-0235）

作品応募の申込書は、当協会のホームページ（<https://www.fukurin-net.jp>）より、ダウンロードできます。



第21回最優秀賞（県知事賞）「作業中です」門林泰志郎

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たまちい

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

林地残材用アタッチメント
グラップルフォーク

GS-90LJF/LJFV

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

- ・フォークが大きく開き、木質バイオマス生産現場での端材の集積に威力を発揮
- ・不要な石を効率良く振るい落とす、格子状のフォーク型トング
- ・手元のノブスイッチだけでグラップルの各操作が簡単・楽に可能

林地残材の集積に威力を発揮するフォーク型特殊グラップル

※本機は林地残材集積用です。肥前、地植え作業には使用しないでください

For the future with forest

 **イワフジ工業株式会社**

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699

(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店
(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1